

知っておきたいアレルギー

アレルギーは 体を守る機能の「免疫」が敏感すぎて起こる病気

目

かゆみ・涙・充血・腫れ
(アレルギー性結膜炎・花粉症)

口

唇がかさかさする
唇や口腔内の腫れ
ピリピリ感
(口腔アレルギー症候群)

呼吸器

咳・喘鳴(ゼーゼー)
声がかすれる・息苦しい
呼吸困難
(気管支喘息)

鼻

鼻水・鼻づまり・鼻血
くしゃみ・かゆみ
(アレルギー性鼻炎
花粉症)

アレルギー症状が起きやすいのは

アレルゲン(抗原)が体に入り込む部
位・敏感に反応する部位に症状が起きや
すい。(皮膚, 胃腸, 目, 耳や空気を通
る鼻・のど・気管支・気道など)

耳

耳だれ・耳のかゆみ

泌尿器

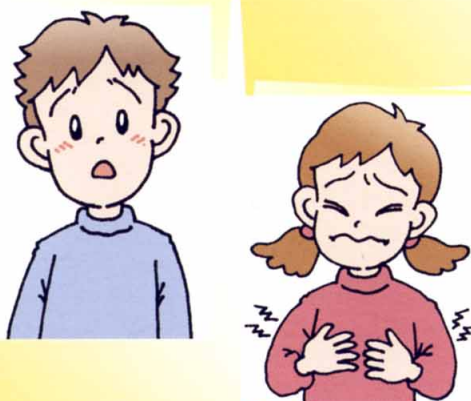
むくみ・血尿

皮膚

かゆみ・乾燥・腫れ・湿疹
赤み・じくじくする・発疹
(アトピー性皮膚炎・蕁麻疹)

消化器

吐き気・嘔吐・腹痛・下痢
(アレルギー性胃腸炎)



全身

発熱・意識障害・アナフィラキシーショック

アナフィラキシーとは・・・緊急事態

体がアレルゲンに接して起こす激しいアレルギー反応。血圧低下, 呼吸困難, 意識消失などの全身的ショック症状を伴う。急激な症状悪化から死に至る可能性もある。

喘息発作が起きたら…

学校でできること

小発作

- 軽い喘鳴
- 陥没呼吸軽度
- 早く歩くと苦しい
- 『一文』区切りの会話
- 横になれる
- 食事は普通に食べられる



保健室での対応

- イスに座らせ休ませる
- 腹式呼吸をうながす
- 水分補給をする
- 痰だしをする

中発作

- 喘鳴が顕著
- 陥没呼吸明らかな
- 安静時・歩行時の呼吸困難
- 『句』区切りの会話
- やや興奮
- 横になれず座位を好む
- 食事は少し食べにくい



発作がおさまれば教室に戻せる



家庭に連絡する

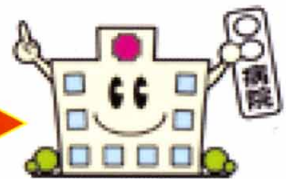
以上の手当をしても改善しない場合は医療機関にかけろ

大発作

- 離れていても聞こえる喘鳴
- 陥没呼吸
- 歩行困難
- 返事ができない
- 興奮
- 前かがみ
- 食事ができない
- チアノーゼ・意識低下が出る事もある



直ちに医療機関受診の準備



必要によっては救急車を要請

- 呼吸が出来ない
- 陥没呼吸著明
- 歩行・会話・食事不能
- チアノーゼ
- 意識障害
- 便尿失禁

呼吸不全



すぐに救急車を要請



食物アレルギーによる症状と対応

食物アレルギーの症状

皮膚のかゆみ、蕁麻疹・湿しん
 □・のど粘膜のはれ
 下痢, 腹痛
 咳, 呼吸困難等
 全身症状にまで至ることがある

特にアナフィラキシー症状を 起こしやすい食品



ピーナッツ

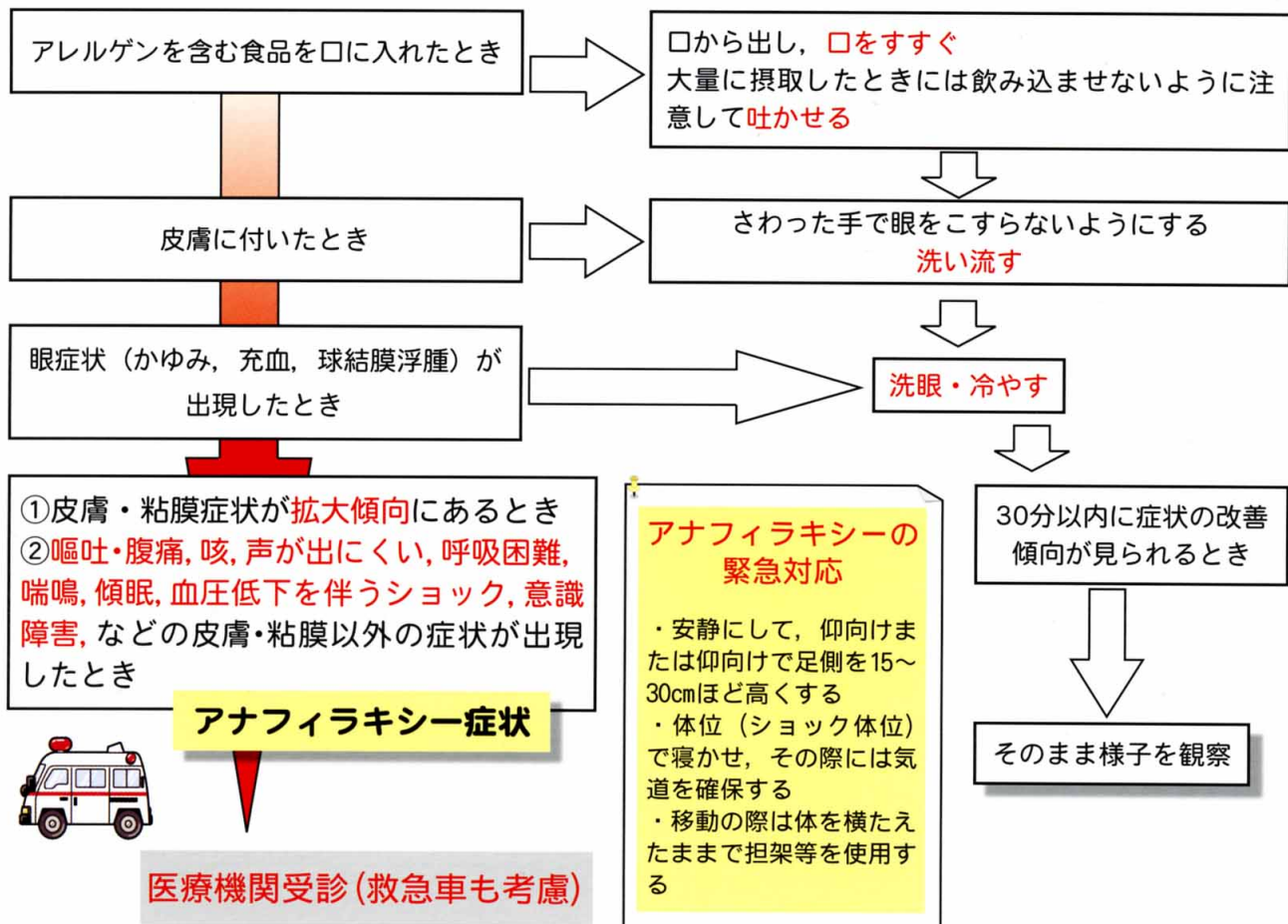


そば(そば粉)

食物アレルギーによる症状は、発現する時間により、
 食物アレルギー摂取後数分から2時間以内に出現する
即時型と、それ以降に出現する**遅発型**がある

注意が必要な 即時型アレルギー症状とその対応

初期には、蕁麻疹などの皮膚症状が最も多くみられるが、嘔吐、下痢などの消化器症状、
 咳・喘鳴（ゼーゼーして苦しくなる）などの呼吸器症状が出現する



医療機関受診(救急車も考慮)

